

令和6年1月25日(木)

国語の正答について

令和6年1月25日(木)に実施した、
成田高等学校附属中学校 令和6年度 一般入試 国語 大問1 B ② Y の正答について

慣用句として、 ②

 を

 に対し、当てはまる言葉を後の語群から選ぶ問題を出題しました。

これに対し、Xには解答エ(的)を、Yには解答カ(射る)をもって「的を射る」を正答として想定していましたが、一部辞書において、「的を得る」を掲載していることがわかりました。

※『三省堂国語辞典第七版』(2014年)および『三省堂国語辞典第八版』(2021年)に掲載

作問者においては、文化庁が発表した「平成24年度『国語に関する世論調査』の結果について」(2013年3月調査)において、「的を射る」を辞書等で本来の言い方とされるものとし、また、最新版の岩波書店の広辞苑第七版(2018年)にも「的を射る」の掲載はあるものの、「的を得る」の掲載がないことから出題としましたが、採点時に本校職員の指摘を受けて調べましたところ、上記のことが確認されました。

※「的を得る」について、三省堂『大辞林 第四版』(2019年)では「『的を得る』は『当を得る』と混同した誤り」と掲載されている。

三省堂『新明解国語辞典 第八版』(2020年)では「的を射た」という掲載があり、「的を得る」は掲載なし。

以上のように、一部辞書に掲載されていることから、本校では今回のYを解答キ(得る)とした「的を得る」も正答とすることとしました。
受験生の皆様にはご迷惑をおかけしたことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。